

令和5年度 伏木高等学校アクションプラン -1(1)-			
重点項目	学習活動(学習指導)		
重点課題	主体的・対話的で深い学びを引き出す授業の推進		
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員は「主体的・対話的で深い学び」を意識して授業を行っているが、生徒自身に自ら学ぼうとする意欲や主体的に授業に取り組む姿勢を持ってほしい。</li> <li>生徒はタブレットやICT機器を利用した授業に興味を持って参加しているが、学力の定着度を確認するとあまり成果がみられず、「深い学び」にまではつながっていないようである。</li> </ul>		
達成目標	<p>① 主体的に学習に取り組んだと自己評価する生徒の割合</p> <p>60%以上</p>		② 互見授業に年間3回以上参加した教員の割合 70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットやICT機器を活用した授業を推奨し、アクティブラーニングの手法を取り入れて、生徒が主体的に授業に取り組む姿勢を育てる。</li> <li>「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導法の研究のため、2週間の互見授業期間を年に2回設定し、相互評価や意見交換を行うことで授業改善を行う。</li> </ul>		
達成度	<p>① 1学年：61.5% 2学年：58.3% 3学年：65.7%</p> <p>全学年平均 61.9%</p>		② 78%
具体的な取り組み状況	<p>①生徒の学習意欲を高めることに重点を置き、力に応じた指導を行った。</p> <p>②6月と11月にそれぞれ2週間の互見授業を実施し、各教科がタブレットやICT機器を活用した授業を公開した。自分の教科だけでなく他教科の授業も参考にするなど、積極的に授業研究をおこなうように促した。</p>		
評 価	<p>① A</p> <p>「授業は興味がわき楽しい」と回答した生徒の全学年平均は48.4%（前年度40.5%）であったが、「授業を通して学力がついたと思う」は75.3%（前年度65.0%）と、前年度と比較してどちらも上がっている。</p>		② A 6月と11月合わせて4週間の互見授業期間中に、3回以上参加した教員は27名中21名であった。中には6回参加した教員もいた。
学校評議員の意見	<p>生徒の学力格差が大きいという悩みもある中で、個別の学習状況に応じた指導や教員の指導力向上、学習環境の整備など学習意欲向上に取り組まれている。いろいろな側面から少しずつ伝えることができれば、学習意欲の向上につながる。</p>		
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒の能力に応じた指導を行うことで、「学力がついた」という充実感や達成感を得られるようにする。</li> <li>「主体的・対話的で深い学び」につながる授業によって、生徒が「分かって嬉しい」から「もっと知りたい」へと、積極的に学習に取り組もうとする意識の向上を図る。</li> </ul>		

令和5年度 伏木高等学校アクションプラン - 1 (2) -

重点項目	学習活動(国際理解教育)																																																																															
重点課題	国際交流活動の推進																																																																															
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流活動に必要な英語の基礎力を身につけるため、授業の他に本校独自のSETプログラム（毎朝5分の英語放送）を行っている。</li> <li>第2外国語として学んでいる、中国語、韓国語、ロシア語を活かし、友好校との交流を促進する。海外研修を復活させる。</li> </ul>																																																																															
達成目標	① SETプログラムに積極的に取り組む。 ② 第2外国語の学習に積極的に取り組む。		③ 国際交流活動に積極的に取り組み、充実感を得る。																																																																													
	それぞれ80%以上		(感想より)																																																																													
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数教員によるSETプログラムを実施し、生徒の興味を深める。</li> <li>友好校との相互交流を充実したものにする。（研修、オンライン等）</li> <li>国内研修、海外研修の機会を保障する。</li> </ul>																																																																															
達成度	<p>あなたは毎朝のSETプログラムに意欲的に取り組みましたか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>とても意欲的に取り組んだ</th> <th>意欲的に取り組んだ</th> <th>あまり意欲的に取り組めなかった</th> <th>意欲的に取り組まなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>約140</td> <td>約60</td> <td>約20</td> <td>約10</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>約60</td> <td>約40</td> <td>約10</td> <td>約5</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>約40</td> <td>約30</td> <td>約10</td> <td>約5</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>約40</td> <td>約20</td> <td>約10</td> <td>約5</td> </tr> </tbody> </table> <p>あなたは第2外国語の学習に意欲的に参加しましたか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>とても意欲的に取り組んだ</th> <th>意欲的に取り組んだ</th> <th>あまり意欲的に取り組めなかった</th> <th>意欲的に取り組まなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>約80</td> <td>約20</td> <td>約10</td> <td>約5</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>約70</td> <td>約20</td> <td>約10</td> <td>約5</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>約30</td> <td>約20</td> <td>約10</td> <td>約5</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>約30</td> <td>約20</td> <td>約10</td> <td>約5</td> </tr> </tbody> </table>			年	とても意欲的に取り組んだ	意欲的に取り組んだ	あまり意欲的に取り組めなかった	意欲的に取り組まなかった	全体	約140	約60	約20	約10	1年	約60	約40	約10	約5	2年	約40	約30	約10	約5	3年	約40	約20	約10	約5	年	とても意欲的に取り組んだ	意欲的に取り組んだ	あまり意欲的に取り組めなかった	意欲的に取り組まなかった	全体	約80	約20	約10	約5	1年	約70	約20	約10	約5	2年	約30	約20	約10	約5	3年	約30	約20	約10	約5	<p>国際交流は充実していましたか。(2学年対象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体</th> <th>雄國</th> <th>台湾</th> <th>北海道</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても充実していた</td> <td>34</td> <td>27</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>充実していた</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>あまり充実していなかった</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>充実していなかった</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			全体	雄國	台湾	北海道	とても充実していた	34	27	15		充実していた	7	8	2		あまり充実していなかった	0	1	0		充実していなかった	0	0	0	
年	とても意欲的に取り組んだ	意欲的に取り組んだ	あまり意欲的に取り組めなかった	意欲的に取り組まなかった																																																																												
全体	約140	約60	約20	約10																																																																												
1年	約60	約40	約10	約5																																																																												
2年	約40	約30	約10	約5																																																																												
3年	約40	約20	約10	約5																																																																												
年	とても意欲的に取り組んだ	意欲的に取り組んだ	あまり意欲的に取り組めなかった	意欲的に取り組まなかった																																																																												
全体	約80	約20	約10	約5																																																																												
1年	約70	約20	約10	約5																																																																												
2年	約30	約20	約10	約5																																																																												
3年	約30	約20	約10	約5																																																																												
	全体	雄國	台湾	北海道																																																																												
とても充実していた	34	27	15																																																																													
充実していた	7	8	2																																																																													
あまり充実していなかった	0	1	0																																																																													
充実していなかった	0	0	0																																																																													
<ul style="list-style-type: none"> <li>(理由) (自分が)あまりしゃべれなかった。</li> <li>(3学年の主な理由)他のことをしていた。</li> <li>(1学年の主な理由) 難しすぎる。興味がない。</li> <li>(全体) 興味がわからない。難しすぎる。</li> <li>(2, 3学年の主な理由) 難しすぎる。</li> </ul>																																																																																
具体的な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数教員による本校独自のSETプログラムを行った。（第2外国語含む）</li> <li>海外/国内語学研修を実施した。（2学年対象12月）</li> <li>世界の料理体験（中国、韓国、ロシア）を実施した。（3学年対象2月）</li> </ul> <p>（アンケートの実施時期によっては、満足度が上がると考えられる。 Ex. SETカルタ大会（1月末）、世界の料理体験（2月））</p>																																																																															
評 価	① (81.1%) A ② (80.7%) A		③ A																																																																													
	8割近くの生徒が本校の特色であるSETにも第2外国語にも意欲的に取り組んでいる。		実際海外/国内語学研修を実施し、生徒の満足度を高めた。																																																																													
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語に興味を持ち、それを実践し、海外研修で最終的に取り組めるプログラムは今後も続けてもらいたい。</li> <li>独自の取り組みである「SETプログラム」を強みに継続している点が印象的。</li> <li>今後も工夫や変化を持たせて続けていってほしい。</li> <li>学校HPで、富山の企業が中国や韓国をはじめとする海外とのつながりのある仕事をしていることをアピールし、伏木高校の普通科+国際という学びの重要性をもっと発信してよいと思った。</li> </ul>																																																																															
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>SETプログラムへの生徒全員参加の取り組み。</li> <li>海外語学研修の実施の持続可能な取り組みに向けての努力と工夫。</li> <li>姉妹校・友好校との関係継続のためのオンライン交流の促進。</li> <li>受入れにともなうホームステイの方向性の確認。</li> <li>効果的な情報発信への模索。（学校HPなど）</li> </ul>																																																																															

（評価基準） A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

## 令和5年度 伏木高等学校アクションプラン -2-

重点項目	学校生活(生徒指導、保健衛生)	
重点課題	モラル意識の向上と環境美化の意識向上	
現 状	<p>【モラル意識の向上】</p> <p>基本的な生活習慣の定着を目指し、授業、生徒会活動、学校行事、部活動など学校生活のあらゆる機会を通して指導している。生活習慣の乱れを修正できずに遅刻を重ねる生徒がいる。制服の着こなしあは概ね良好で規範意識が高い生徒が多い。挨拶の習慣がついている生徒は増えてきたが、挨拶に躊躇している生徒もみられる。</p> <p>【環境美化の意識向上】</p> <p>清掃活動や環境美化に取り組む意識は高まりつつある一方、ゴミの置き忘れや分別のマナー等、改善の余地が見られる。</p>	
達成目標	生活全般におけるモラル意識の向上	環境美化としての清掃やゴミ捨てマナーの向上に意欲的に取り組んだという生徒の増加
	95%以上	
方 策	<p>【モラル意識の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活調査を年間2回実施し、現状の把握に努め、個人面接やHR、全校・学年集会において生活習慣の改善の啓発に努める。</li> <li>・スーパーモラル顕彰制度により、生徒が相互にモラル意識の向上を図る。</li> <li>・保護者に理解と協力を得ながら、全教職員が粘り強く指導に取り組む。</li> </ul> <p>【環境美化の意識向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や生徒対象にアンケートを分析し、清掃活動やゴミの分別への啓発方法を検討する。</li> <li>・美化週間や保健委員会などの生徒主体の活動を通して、分別やゴミ捨てマナーの意識付けや生徒の清掃活動の充実等、環境美化の意識向上を図る。</li> </ul>	
達 成 度	服装や身なりを整える94% 時間を守る96% 公共の場でのマナー98% あいさつ励行97%	清掃活動に(ほぼ)休まずに参加した R4 98.1% → R5 98.6% 清掃への意欲的な取組み R4 99.3% → R5 93.1% ゴミ分別 R4 94.3% → R5 96.3%
具体的な取り組み状況	<p>【モラル意識の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から生徒への声掛けを全教職員が行ったり、集会時にマナー意識について生徒に考え方せたりしている。</li> <li>・スーパーモラル顕彰制度を利用して毎学期、該当生徒を表彰している。</li> </ul> <p>【清掃活動の充実とごみ捨て、分別マナーの向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会や美化週間の機会などを捉え、保健委員会生徒から全校生徒へ呼びかけるなど美化意識を高めるよう努めている。</li> </ul>	
評 価	A	A
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各観点において生徒のモラル意識が高い。</li> <li>・日頃の清掃活動への参加、ごみ捨てマナーや分別への生徒の意識向上ができた。</li> </ul>	
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校側のモラル意識の高さが生徒に反映されている。個性の尊重を大切にしながら、社会生活を営む上で最低限守るべき行動を学び続けてほしい。</li> <li>・清掃や環境美化に対しての高い意識が見られる。数値の増減は気にせず、今後も取り組みを続けてほしい。</li> </ul>	
次年度に向けての課題	<p>【モラル意識の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS上のモラル意識向上を目指す取組みを加えていく。</li> <li>・スーパーモラル顕彰制度を、生徒主体のものにするなど見直しを検討する余地がある。</li> </ul> <p>【環境美化の意識向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や生徒対象のアンケートを分析し、清掃活動やゴミ捨てマナーの意識向上に向けて工夫する。</li> <li>・美化週間や保健委員会などの生徒主体の活動を通して、分別やゴミ捨てマナーの意識付けや生徒の清掃活動の充実等、環境美化の意識向上を図る。</li> </ul>	

## 令和5年度 伏木高等学校アクションプラン - 3 -

<b>重点項目</b>	<b>進路支援（進路指導）</b>	
<b>重点課題</b>	<b>進路目標の明確化と進路実現</b>	
<b>現 状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の適性に応じた進路目標を抱くことができるよう、進路に関する情報提供の機会を多く持ち、個々に寄り添った面談を重ねるように努めている。</li> <li>・進路目標の決定を早期に行うことにより、各自の課題を明確に把握し、日々の学習に対するモチベーションの向上に努めている。</li> </ul>	
<b>達成目標</b>	<p>① 第2学年3学期スタート時点において進路希望先を明確に設定した生徒の割合</p> <p>60%以上</p>	<p>② 第3学年の進路決定について、満足のいく進路実現ができた生徒の割合</p> <p>90%以上</p>
<b>方 策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路関係行事、総合的な探究の時間等を利用し、進路意識を高め、進路目標を明確にさせる。</li> <li>・インターンシップやオープンキャンパスなどに積極的な参加を促し、情報収集に努めさせる。また、レポート作成やプレゼンテーションを行うことを通して、生徒同士が多く情報共有し、互いに刺激し合いながら自己の適性を把握し進路意識の向上を図ることに努める。</li> <li>・面談を重ねることで、現実を客観的に把握し、将来にむけての課題を明確にさせる。</li> </ul>	
<b>達成度</b>	<p>① 43.8%</p>	<p>② 90.8%</p>
<b>具体的な取り組み状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学年については、2学期にかなり具体的なイメージを抱いて進路学習に取り組むことができた。夏休み中に取り組んだ職業体験やO.C.の情報交換が功を奏している。今後3月にも個々人がzoomでの学校探究を行い、絞り込んでいく予定である。</li> <li>・3年生については、目標に向かって努力した生徒の満足のいく数字となっているようである。</li> </ul>	
<b>評 価</b>	<p>① C</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を早期に抱くことは大変重要な鍵となるが、この時期での決意は難しいと感じている。しかし、約8割にも上る生徒が「就職・進学」の方向を見定めており、今後刺激し合いながら努力すると思われる。</li> </ul>	<p>② A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中でも「とても満足のいく進路決定ができた」と回答する者が62%を越えている。生徒の努力は勿論のこと、学校全体で、教職員一丸となってサポートした結果であると思われる。</li> </ul>
<b>学校評議員の意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業人講話など工夫された内容で行事が運営されている。親世代など様々な年代の方から仕事に関わる話を聞く機会は大切である。</li> </ul>	
<b>次年度に向けての課題</b>	<p><b>【キャリア教育の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自らの職業観を養い、早期に将来像に対するイメージを抱けるような方策として、計画的に進路行事を進めていく。満足のいく進路実現のためには、相当の準備期間が必要である。そのためのサポートとして、効果的に面接指導も行うことにより相乗効果を高めていきたい。</li> </ul>	

## 令和5年度 伏木高等学校アクションプラン - 4 -

重点項目	特別活動(地域交流活動と読書指導)	
重点課題	地域交流活動の活性化と読書教育の充実	
現 状	<p>【地域交流活動の活性化】</p> <p>本校では地域交流活動として地域の方々と関わりながら行うボランティア活動などを数多く実施している。これが生徒の成長を育んでいる重要な活動の一つとなっている。多くの学びや体験を求めてこれらの活動に意欲的に参加する生徒を育てたい。</p> <p>【読書教育の充実】</p> <p>本校生徒は読書体験が少なく、その効用や楽しさを経験していない人が多い。図書委員会の活動を活発に行い「BOOK TALK」や「図書だより」等の広報活動を通じて、落ち着いて積極的に読書に親しむことができる環境を整えたい。</p>	
達成目標	① 生徒が地域交流活動に参加して充実感を感じ、意義ある活動と捉える。 (事後アンケートで調査)	② 読書活動に積極的に参加できた生徒の割合 70%以上 (事後アンケートで調査)
方 策	<p>【地域交流活動の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナ禍以前のように多くの地域活動が再開されると思われる。これらには例年通り参加する。また地域活動の中で、生徒が地域の課題に気付き、自分たちでできることを見つけ、それらに自ら取り組んでいけるようサポートする。</li> <p>【読書教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生への図書館オリエンテーションの実施と図書館の読書コーナーの内容や展示の仕方を工夫したり、図書委員会で図書館の利用を促進するための企画をしたり、広報活動を行ったりする。</li> </ul> </ul>	
達成度	① 参加生徒 48% 充実感を感じた生徒 92%	②朝読書に積極的に参加できた生徒の割合 68.9%
具体的な取り組み状況	<p>【地域交流活動の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の諸活動がコロナ禍前の状況に戻ってきた。これまで参加していた活動に例年通り参加させていただいた。また伏木地域外のボランティア活動が復活し、チラシなどで生徒に周知した。</li> <p>【読書教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生への図書館利用オリエンテーションの実施、図書館の特集コーナーを工夫することや、朝読書の活動を通じて本への興味・関心を高める。</li> <li>・生徒図書委員からの意見やアイディアを盛り込んだ「BOOK TALK」や「図書だより」を作成・発行し、図書館の利用を促進する。</li> <li>・移動図書の設置をし、図書館の開館時間に関わらず生徒が自由に図書館の本を手にする機会を設けた。</li> </ul> </ul>	
評 価	A	B
	参加した約9割の生徒が充実感を感じている。朝読書の活動を充実させるためには、時期による来年度参加したい生徒は全体の約8割。や方法等さらに工夫する必要がある。	
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事やボランティアへの参加は地域に必要とされる評価を得られ、生徒の自己肯定感や自己有用感を得られるので継続してほしい。</li> <li>・移動図書の設置や地域に関連する行事や図書の紹介等、様々な啓発活動が生徒の気づきや読書習慣の定着に結びつくと思われる。今後も粘り強く継続して欲しい。</li> </ul>	
次年度に向けての課題	<p>【地域交流活動の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限りスケジュールの調整を行い、多くの生徒が参加できる環境をつくる。</li> <li>・積極的な参加への取り組みを、生徒会主導で行う。</li> <p>【読書教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の本を利用しやすくし、生徒の読書習慣の定着につながる環境づくり。</li> <li>・「BOOK TALK」や「図書室通信」を通じてできるだけ多くの生徒や教職員の読書体験を紹介し、読書に対する生徒の意欲を高めていきたい。</li> </ul> </ul>	